



apo

Product for clients

Career Power Life & Information Plaza

Powered By Career Power

株式会社 キャリアパワー

Vol. 80

2018.10 Autumn

「目先の損得だけを見てはいけない。 思いがけない経験が自分を成長させる。」



立命館大学
研究部
次長

栗山 俊之様

Top Interview

巻頭インタビュー

今回は立命館大学の研究部次長 栗山俊之様にインタビューをさせていただきました。科学研究費関連のランキングで2位と大差をつけて関西私立大学のトップをひた走る立命館大学の取り組みや秘訣についてお話を伺いました。

豊富な実務経験を持った方の多い派遣社員の方々は、日常業務はもちろん、新規分野の立ち上げに必要不可欠な人材である。

立 命館大学では各キャンパスに「リサーチオフィス」という部署を設置し、産学官連携や研究成果の社会還元、研究活動の支援などをワンストップで担当しています。これらのオフィスでは、研究活動をわかりやすく社会や産業界に向けて伝える広報業務や、研究予算の執行管理といった経理業務など多岐にわたる事務機能を持っています。できる限り電子化、自動化を進めていますが、大学の研究活動は多様な進め方があり、研究者ときめ細かいコミュニケーションを取って支援することが研究プロジェクトの成功にも結びつくため、人手を介した事務処理が必要となってきます。派遣社員の方々は豊富な実務を持った方が多く、専門的な業務や大学ではこれまで扱ってこなかったような分野の業務に対しても、効率的・効果的に対応していただける点に派遣利用の大きなメリットを感じています。また、補助金の申請業務や年度末の報告書作成業務など、1ヶ月から数ヶ月の期間で集中的に発生する業務があります。他の日常業務に

対応しつつ、これらの臨時的業務を行うため派遣社員の方々のお力を借りています。

専門分野に特化した人材を積極的に採用し、新たな体制を敷くことが立命館大学の改革の大きな足がかりとなる。

今後、グローバル化や少子高齢化が進展していく中で、変化する社会ニーズを的確に捉え、大学自らも変革する必要があります。そのためには、従来の大学組織になかった事務機能や人材を新たに採り入れ、機敏に社会環境の変化に対応することが重要になります。「全員が何でもできる」という体制よりも、専門スキルをもった人材をチームとしてどのように束ねるのか、といった組織運営が求められています。その意味では、より専門化した人材ニーズに対応できるサービスを期待したいと思います。

一方で、働き方改革やダイバーシティ・インクルージョン社会の実現といった取り組みが進むことで、就労ニーズが多様化・複雑化することが予想されます。人材サービス会社には、これら組織のニーズと就労ニーズをつなぎ、組織と個人がより良い関係を結ぶためのコン

サルティングや橋渡し機能を発揮していただくことを期待しています。

立命館大学が築き上げてきた独自の科学研究費に関するノウハウが、2位を大きく離しての西日本の私立大学1位という結果を生み出す。

科学研究費は全体で2,200億円を超える予算規模で、人文学、社会科学、自然科学など全分野に対し、基礎から応用までの研究を支援対象とした我が国で唯一にして最大の競争的資金制度です。私立大学は非常に限られた財政資源の中で研究活動を行っており、こうした競争的資金の獲得が不可欠です。立命館大学でも、科学研究費の申請書作成に関するポイントやノウハウを提供する学内セミナーの開催や、残念ながら不採択となった研究計画に対し学内で一定の研究資金を助成する制度などを設け、科学研究費への申請を推進しています。

※立命館大学は、2005年から10年余りで科学研究費の採択金額を約2.3倍、採択件数を約2.6倍に伸ばし、共に西日本の私立大学1位を誇る

立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)とR2020という中長期計画が立命館大学を更

なる高みへ押し上げる。

2020年の学園ビジョンR2020に基づき、「特色あるグローバル研究大学への挑戦と実現」を基本方針として決めました。この中で、私立大学を代表する世界水準の研究大学を目指すとともに、立命館らしい特色ある研究拠点を創出することを掲げています。特徴的な取り組みとしては、「立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)」という分野横断型の文理融合による研究マネジメント組織を立ち上げました。現在、このR-GIROのもとで11の研究拠点が少子高齢化の課題に対応し、人間共生型社会の実現に向けて研究活動に取り組んでいます。

迅速且つ効果的に研究を支援できる体制、それがワンストップサービス。これにより教育や研究支援だけでなく社会貢献にも対応。

立命館大学では1995年に産学官連携を専門に取り扱う部署である「リエゾンオフィス」を全国に先駆けて設置しました。その後、20年以上にわたって蓄積された研究支援のノウハウを有しています。一般的に研究支援の分野では、研究計画を立案し、研究資金を確保しつつ研究体制を整備するまでの段階(プレアワード)と、研究プロジェクトが立ち上がった後にプロジェクトを運営管理し、プロジェクトから創出された研究成果や知的財産をマネジメントする段階(ポストアワード)に分かれます。現在、多くの派遣社員の方々に活躍いただいている予算管理業務なども、このポストアワードの段階で生じる重要な業務です。以前は、プレアワード業務とポストアワード業務は別の部署で担当していましたが、取り扱うプロジェクト数が増加し、それぞれの段階での情報共有や一貫した方針のもとでの支援サービスの提供といった点が課題となっていました。一方で社会背景としては、2005年1月に発表された文部科学省中央教育審議会「我が国の高等教育の将来像」(答申)の中で、これまでの教育、研究活動に加え、社会貢献(地域貢献、産学連携、国際交流等)が大学の第三の使命であるとされました。このような社会貢献という大学の第三の使命にも対応していくために、研究支援の分野においてもどのような組織体制が有効かという議論を行い、立命館大学では2006年度から現在のワンストップサービスに変更しました。これにより、研究プロジェクトの立ち上げから研究成果の社会還元までを一つの部署で担当し、迅速かつ効果的に支援できる体制を整備しました。

研究支援や研究成果を外部へ発信する「リサーチオフィス」は、緑の下の力持ちであり立命館大学の心臓部でもある。

我々の仕事は、研究者が研究しやすい環境をつくることや、産業界や地域社会に対して研究成果を還元し社会に実装できるように研究者と社会を橋渡しする役割であると考えています。演劇に例えると、舞台が成功するように準備やサポートを行う黒衣の役割です。大学の研究は未知の分野や未踏領域にチャレンジするものなので、計画通りにいかないことも多く、様々な制度やルール、関係者との調整や対応で苦勞することもあります。ただ、研究者の方々から我々のサポートに対して感謝していただいたときや、実際に研究成果が製品やサービスの形になって世の中に出ていく姿を見ると、社会に対して貢献していることを実感し嬉しく思います。

あらゆる場面、状況に対応できるユーティリティな存在や因果関係を考えられる存在がこれからの時代は社会で求められる。

近年の業務の環境は複雑化、多様化が進んでおり、従来のように標準化・定型化された業務を同時並行的に指示に基づいて行うということが減少しています。反対に、共通の目標や最低限のルールを共有し、実行段階では状況に応じて多様なアプローチを考えなければならないということが増えています。そのため、今後、組織の中で働く人を採用する際には、フォローアップが発揮できる人材かという点を重視しています。上司やリーダーに対して、自ら考えて主体的に働きかけられる素養を備えているかといった面に注目して採用しております。又、成功事例でも失敗事例でも個別の事例で得た知識や経験を抽象化・一般化し、より高次の視点を得る“メタ化”をすることが重要だと思います。ある具体的な結果に対して、なぜそうなったのか、構成要因は何であるのかといった問いを繰り返し、その因果関係や定式を見つけ構造を分析することで、より普遍化された経験を得ることにつながります。そうすれば、未知の課題に直面した場合でも、普遍化された経験を使って一定の見通しをもちながら対応することが可能となります。このような行動が成長につながり伸びる人材だと感じます。

研究活動から人間関係までリアルな経験を通じ学び得る環境、“本物に触れる場所”の提供が激化す

る大学競争を勝ち抜く秘訣である。

一般的に、高等教育機関である大学の役割は、先端の研究を通じて物事の本質を捉える力を養う場所、すなわち研究と教育だと言われています。これに加えて、かつての上司でもあった大学教員から「大学は“本物”に触れる場所だ」と教わりました。単に知識を得る場だけではなく、研究活動や課外活動、人間関係などリアルな経験を通じて学びを得る環境を提供することが、これからの大学に求められる役割であると思います。立命館には約35,000人の学部生、大学院生が在籍し、68カ国・地域から約2,000名の留学生が学ぶ多様性に溢れた環境があります。あらゆる世代、属性の人材がボーダーを超えて交わることで未来を創る環境を提供していきたいと思います。

具体的に相手に情報を伝えることが円滑なコミュニケーションを実現し、全体的な飛躍にも繋がる。

職場の方とコミュニケーションを取る際に私が気をつけていることは、相手に情報を伝えるときはできる限り具体的・定量的に「固有名詞+数字」を出して伝えるということです。これは過去に上司から言われ、時折思い出しては私自身も注意しています。また、自分の意見や感想など主観的な情報と客観的なデータや事実を区別して伝えるように意識しています。雑談や世間話の中からも業務上のヒントを得られたり、その人の考えていることが明らかになったりするため、仕事以外の話題も織り交ぜてコミュニケーションを取るようにしています。

目先だけを見ては焦るばかり。何事にも取り組むことが自分をより高みに導く第一歩である。

20代、30代の若い世代の方にアドバイスをするとすれば、私が20代、30代の頃は将来の役に立ちそうなスキルや知識をいろいろと調べ、身につけようとしていました。しかし、実際にはすぐに役立っているという実感が少なく、焦るばかりだったような気がします。結果的に、一見すると無関係でも思わぬところで役に立った知識や経験が多くあることに気付きました。まずは目先の損得にとらわれず、役に立ちそうに無いことでも取り組んでみるのが自己研鑽につながると思います。

自ら体験をしなければ真に知識を得たとは言えない。経験を積むことで初めて得るものがある。

最後になりましたが、自己紹介を少し。私の経歴ですが、民間企業での勤務を経て、

2003年に立命館に入職しました。当初はBKCRリエゾンオフィスという部署で産学官連携プロジェクトの運営管理を担当し、2008年から4年間は人文社会科学分野の研究支援も担当しました。専ら研究支援業務に携わり今年で16年目になります。趣味らしい趣味はありません

が、できる限り時間を作って読書に充てています。私が人生の教訓にしている言葉は、禅語の「冷暖自知」です。水の冷暖は自らが直接飲むことで知ることができる、という意味の言葉です。現代の社会は様々な情報があふれていますが、往々にして情報を受け取っただけで知識を得

たと勘違いすることがあります。何事も自らの体験や経験を通じて初めて得るものがある、というこの言葉を自戒の念も込めて時折思い出します。

スタッフインタビュー

■ Interview

自分の“好き”を尊重していただいて、素敵な職場と出会えました



名古屋市立大学図書館リーダー
横井 千尋様
週末はケーキ作りもされており、話していて楽しくなる横井さんです!

キ ャリアパワーに出会ったのは、転職先を探していたときでした。図書館の求人が豊富だったので、ここなら良い仕事が見つかるかも!と思いましたね!現在就業している大学図書館では、今までの経験をフル活用する事が出来、仕事に遣り甲斐も感じます。時には困ったこともありますが、キャリアパワーさんは就業中だけでなく就業前からフォローをしっかり行ってくれているので、好きな仕事に安心して向き合えることが有難いと感じています。

私にとって仕事は「自分の好きな場所にいること」だと考えています。たくさんのコミュニケーションを通じて、図書館と本を好きになってほしい。そして利用者の“好き”な世界を広げたいという気持ちで取り組んできました。本に出合えた嬉しさや感動を、いろんな人と共有できる場所。図書館をそう感じてもらえるように、仕事に向き合いたいと思います。

昨年からリーダーに就任しましたが、自分が楽しいと感じないと、全員が楽しく働けないと考えています。今後も仕事の在り方や図書館の雰囲気作りに、みなさんに私の背中を見てもらって「見習いたいな。」と思ってもらえるリーダーで在りたいです。

スタッフ懇親会

■ Information

ご就業スタッフさんと懇親会を実施しました

弊 社では日々、お仕事を頑張っていただいているスタッフさんへ日頃の労いと感謝の気持ちを込めて、懇親会も実施しております。

今回は大阪市内にありますメーカーにてご就業頂いているスタッフさんと懇親会を実施させていただきました。

こちらの企業様へは約30名派遣をさせていただいており、弊社の社員も常駐しております。日々、沢山の事務作業を進めてもらっていますが、とにかく処理をする量が多く、事前に処理量を予測して、人員数の調整や、就業時間(残業時間など)を綿密に計画しながら進めています。それでも予期せぬ処理量が発生をするのですが、スタッフさんからは「私がやります!」や「今日は〇〇しよう!」など個人個人が積極的であり、且つ頼もしい方ばかりであり、スタッフさんの意欲や使命感に助けられている部分が多くあります。その様なスタッフさん達に日頃の感謝が少しでも伝われば良いと思っております。



■ Information

● ご存知ですか? キャリアパワーのあかいドロップ



「This We Believe…」わたしたちキャリアパワーの信じるところ。その思いから生まれた小さな冊子が「キャリアパワーのあかいドロップ」です。出会うことができたすべてのスタッフの皆様の中に、私たちの思いをお伝えしたい。そして、一人でも多くの方の中に、その思いを留めてほしい。ずっと変わらぬ思いでお届けしています。ぜひご愛読ください。

ご希望の方に配布中です くわしくはスタッフ企画室まで!

TEL 0120-288-450 Email info@careerpower.co.jp

■ Information

第20回 図書館総合展のご案内

- 日時：2018年10月30日(火)～11月1日(木)
- 会場：パシフィコ横浜 展示ホール / アネックスホール他
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1 <http://www.pacifico.co.jp>

キャリアパワーでは、今年も企業ブースを出展させていただくとともに、弊社主催のフォーラムを開催させていただきます。ご多忙中とは存じますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

キャリアパワーフォーラムの開催要項 ■10月31日(水) 13:00～14:30

- テーマ **グローバル人材の育成に大学図書館が担う役割 ～24時間365日開館、中嶋記念図書館が目指すもの～**
- 講師：国際教養大学 図書館長 加藤信哉 様

2004年に秋田に開学した国際教養大学。公立大学でありながら、すべて英語の少人数授業、1年間の海外留学必須、留学生との寮生活など、特色のあるカリキュラムで、グローバル人材を育成する大学として全国から注目を集めています。また卒業生は企業からも高い評価を受け、就職率100%、その多くが大手優良企業へ就職していることも注目されています。その国際教養大学のシンボルともいえるのが、「本のコロセウム」としてデザインされた、中嶋記念図書館です。美しい秋田杉を使った傘型屋根が特徴的な建物は、村野藤吾賞、日本建築家協会賞、国際建築賞2010、グッドデザイン賞他多数の賞を受賞しています。また24時間、365日開館の眠らない図書館としても注目を集めています。

このフォーラムでは、グローバル人材の育成のための国際教養大学の取組み、グローバル人材の育成のための中嶋記念図書館の取組みをふまえて、今後更なるグローバル化が進む中で、大学図書館に求められる役割、大学図書館が果たすべき役割について迫ります。国際教養大学に限らず、グローバル人材の育成が大学に求められる中、今後の大学図書館運営がどうあるべきか、そのヒントとなるフォーラムです。



◆来春開催予定◆

『図書館見学セミナー』のご案内

『グローバル人材の育成に 大学図書館が担う役割』特別セミナー

※国際教養大学中嶋記念図書館の見学セミナーを企画予定です。
詳細はあらためてご案内させていただきます。



社内研修のご案内

■ Information

図書館スタッフ「ステップアップセミナー」を開催しました

今年はILLをメインテーマに、普段業務でメインに担当されていないメンバーにもわかりやすく、業務の仕組みや流れを解説致しました。ステップアップセミナーは毎年開催をさせていただいており、キャリアパワーでは定期的な研修を通じ、スタッフの皆様のスキルアップやキャリアアップを応援しています。その結果、利用者への飛躍的なサービス向上を実現し、より親切で利用者の方に便利だと思っていただける図書館運営ができるよう、キャリアパワースタッフ一丸となって取り組んでいきます！これからもステップアップセミナーは定期的開催し、スタッフの皆様と共にスキルアップしていく機会を設けていきます！

●セミナーにご参加された方からのご意見 ※一部抜粋

- ・ILLの業務について理解を深めることが出来たので参加できて良かったです。
- ・ILL業務は自分とは無縁だと思っていましたがセミナーを受けてやってみたくて思いました。
- ・今回得られた知識を業務に活かしていければと考えております。
- ・とても有意義な内容でしたので次回開催の時も是非参加したいと思っております。
- ・図書館業務のスキルアップが実感できた良いセミナーでした。



Support Center News

学術サポートセンター通信 Vol.VI

☒ 書館に来館される利用者の方からのお問合せで、「新聞を読みたい」という希望は意外に多く、珍しいものではありません。図書館では一般の家庭で購読しているような新聞だけではなく、様々な種類や形態の新聞を数多く貯蔵しており、閲覧することができます。今回のワンポイント学習では、新聞のそれぞれの特徴をご紹介します。また新聞といえば紙だけという方もいらっしゃると思いますが、新聞の種類や形態など様々あります。明日、誰かに話したくなること間違いナシのワンポイント学習です!

■ワンポイント学習

「新聞の種類」について

<p>一般紙</p>	<p>社会一般の広い分野の記事を掲載し、全国に向けて発刊している新聞を指します。いわゆる5大紙といわれる大手新聞は読者も多く、タイムリーな記事を扱うため、最新で共通の話題を持ちやすい媒体です。就職活動で時事ネタの効率的な情報収集や、ビジネス用語の勉強、面接対策など、学生にも需要が高まっており、図書館でも各新聞をそろえている所が増えてきております。</p> <p>【対象の新聞紙】 ※いわゆる5大紙と呼ばれています。</p> <p>朝日新聞 読売新聞 毎日新聞 産経新聞 日本経済新聞</p>
<p>地方紙</p>	<p>各地方を販売の対象とした新聞を指します。図書館のある地域の地方紙を、5大紙とあわせて購読することが多いです。地域外の地方紙を購読し、配架していることもあります。地域に密着したセグメンテーションがあるため、政治・経済・健康・娯楽(スポーツ)など様々な話題を満遍なく確認できる新聞の特性上、そのエリアに対してキメ細やかな情報収集が可能です。</p> <p>【対象の新聞紙】</p> <p>函館新聞 中日新聞 琉球新聞 神奈川新聞 西日本新聞 など</p>
<p>業界紙 専門紙</p>	<p>様々な専門業界に特化した内容です。日刊・週刊・隔週刊で発刊され、郵送で納品されることが多いです。WEBが普及してあらゆる情報を手に取れる時代となりましたが、業界紙はWEBでも調べられない、独自の専門情報が記載されています。業界紙では一定のテーマをクローズアップしていますので、一般紙や地方紙では取材できない需要を掘り下げています。特定の業界の方にはマストツールともなっています。産業や金融、交通、衣食住、趣味、情報サービスなど多岐にわたり100紙以上のバリエーションがあります。</p> <p>【対象の新聞紙】</p> <p>日本証券新聞 化学工業日報 日本農業新聞 日刊工業新聞 週間釣り新聞 など</p>

「新聞の形態」について

<p>新聞原紙</p>	<p>発刊されたそのままの状態を指します。皆様がまず思い浮かべる新聞の形態です。長期保存に向けた紙質ではないため、一定期間保管した後、廃棄することもあります。</p>
<p>縮刷版</p>	<p>原紙の紙面を縮小し、冊子の状態で刊行したものを指します。1ヶ月単位でまとめられていることが多く、廉価普及のためや長期保存の為、携帯用に刊行するためなどの理由で発行されたものです。全国紙の縮刷版は、図書館資料としても広く普及しており、当時の情勢を知る貴重な資料とされています。</p>
<p>マイクロ版</p>	<p>近年の省スペース化を図る目的から、縮刷版と同様に、原紙の紙面をマイクロフィルムに焼き付けたものを指します。原紙の状態から大きく縮小するため、肉眼では見ることが出来ず、専用のマイクロリーダーで拡大して閲覧することができます。マイクロリーダーにプリンターが接続されていれば、必要な箇所を出力することができます。</p>
<p>CD-ROM版 DVD-ROM版</p>	<p>新聞紙面、記事をデータ化し、パソコン上で検索・閲覧・出力することができます。特定の記事を閲覧したい場合、原紙・縮刷版・マイクロ版では、掲載年月日を特定する必要がありますが、ROM版であれば、キーワード検索で通読することが可能です。ROM版が個人に貸出されることはほとんどなく、館内設置のPCで利用することが多いです。</p>
<p>データベース版</p>	<p>ROM版と同様にデータ化され、インターネットを通じて利用することができます。朝日新聞であれば聞蔵IIビジュアル、といったように各新聞社で個別のデータベース化をしています。ROM版と異なるのは、搭載されたデータがアップデートされる点です。朝刊が、当日中に検索することも可能です。館内設置PCからログインして使用する、学内IPアドレス内のPCからアクセスする、図書館員が代行して検索対応するなど、利用方法・アクセス方法に特徴があります。</p>

■Solution

キャリアパワーご提案サービス<一例>



派遣法、労働法の改正

人が採れない

最低賃金UP

働き方改革

昨

今「労働者派遣法の改正」や「労働契約法の改正」、また「人手不足による採用難」など頭を悩ませておられる企業様も多いと思います。その様な中、「働き方改革」や「最低賃金のUP」等々の対応も考えていかなければならず、悩みの種は尽きないと思います。

その悩みを弊社のプロ集団が「解決」のご提案をさせていただきます！

◆業務委託運営サービス

委託の範囲・適正な人員数・委託体制・管理方法等、豊富な実績をもとに最適な運営のご提案をさせていただきます。

労働者派遣法改正による3年の上限で、派遣による業務ノウハウの構築が困難となりつつあり、また採用難が続くなか、社員をよりコア業務に集中させたい等のニーズにお応えします。

ノウハウの構築以外にも、弊社の長年の経験から更なる効率化のご提案もさせていただきます。パートナーとして御社の生産性UPへも同じベクトルで考えていきます。

また働く方にとっても労働者派遣法改正による3年の上限については影響を受けず、長期就業も可能となることから業務構築や業務品質の向上は派遣契約よりも格段に上がるサービスとなります。



<実績例>慶應義塾大学、早稲田大学、同志社大学、立命館大学、
国立国会図書館関西館、大手総合メーカー 他

◆無期雇用派遣サービス

現行の他社派遣スタッフを一括で受け入れ、「無期雇用」にて就業させていただきます。

複数の派遣会社で多数の派遣社員を利用しているが、各社2018年度問題への対応がまちまち、また大半のスタッフが交代を余儀なくされるが、派遣元で無期雇用することで就業継続させたい、等のニーズにお応えします。長い年月をかけて研修や教育をされたスタッフの方が交代となりますと、また新しい方への研修や教育で多大な労力やコストがかかってします。弊社では無期雇用をさせていただくことでそのような労力やコストをおさえ、また労働者にとっても安定した職場の提供に努めております。



<実績例>大手メーカー 他

人材業界屈指の事務業務「委託運営」実績を誇るキャリアパワーが「人材活用」のトータルサポートをさせていただきます

■Information

地域活動への参加

びわこペロン大会に参加しました

8月19日、大津湖岸なぎさ公園サンシャインビーチで行われた「2018びわこペロン大会」に今年も参加しました。今年で連続23回の出場となります。

今年もグループ会社の社員が集まり、新卒メンバーら若手社員を中心に力を合わせてレースに臨みましたが惜しくも敗退致しました。レースの合間には水遊びやスイカ割り、キャッチボールなどでグループ会社や肩書きの垣根を越えて楽しみました。当日はBBQやかき氷などもふるまわれ、参加したみんなが思い切り笑い合い、楽しんだ一日となりました。キャリアパワーではこれからも地域への活動も積極的に参加をしていきたいと考えております。



●法令遵守委員会

キャリアパワーは、労働者派遣法や労働基準法など各種労働法令を遵守し、常に適正な事業運営を果たすために、社内に法令遵守委員会を設置しています。定期的に派遣先を巡回、また社内監査を行ないながら、派遣契約内容を改めて見直し、法令の遵守が出来ているかの再チェックを行なっています。また、全社員に対して法令知識向上とコンプライアンス遵守の意識強化のために、定期的に研修会や勉強会を実施し、コンプライアンスの課題解決や事前防止の徹底を図っています。遵法精神を貫くことで、当社で働く派遣労働者、そして人材派遣を利用される全ての派遣先企業様に、よりいっそう満足して頂ける様、活動を行なってまいります。

派遣コンプライアンスに関する問い合わせ先

株式会社キャリアパワー 法令遵守委員会

TEL 075-341-2929 E-mail support@careerpower.co.jp

キャリアパワー各支社へは、フリーコール 0120-154-450 にお気軽にお問合わせください

東京：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル 15F

大阪：〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング 2F

名古屋：〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-25-9 堀内ビル8F

京都：〒600-8216 京都府京都市下京区堀小路通烏丸西入東堀小路町843-2 日本生命京都ヤサカビル 4F

滋賀：〒525-0025 滋賀県草津市西浜川1-1-3 リバティハウス4F

システムセンター：〒600-8269 京都府京都市下京区七条通堀川西入西八百屋町160

TEL.03-6895-2929(代) FAX.03-6895-2911

TEL.06-6346-2929(代) FAX.06-6345-1268

TEL.052-563-2929(代) FAX.052-563-3511

TEL.075-341-2929(代) FAX.075-341-3828

TEL.077-501-9292(代) FAX.077-501-9200

TEL.075-344-6776(代) FAX.075-344-6780

発行
株式会社キャリアパワー

企画/制作
株式会社キャリアクリエイト

2018.10.15発行